

陸海空の広域交通ネットワーク



3月、県道尾崎境線・市道柳橋恩名線開通式



建設が進む伊藤ハムの新工場（取手市）

一方、圏央道が横断する形で開通する県南部を中心に造成するUR都市機構の企業向け事業用地にも、幹線道路「インターチェンジ（IC）」に近いことや東京の消費地に近いなどを理由に、県外企業が着々と立地を決めている。

伊藤ハムは、成長する中食・外食市場への販売拡大を視野に調理加工食品の一貫生産体制を構築するために、取手工場（仮）を「取手ゆめみ野（下高井）」（取手市）内の用地に新設することを決定。約20億円を投じて敷地面積約7万平方メートル、延べ床面積約6000平方メートルの工場を今年9月にも稼働させる。生産能力は年2600トンの規模になる見通し。

ユニットハウスやプレハブ製造の三協フロンティアも、ICへの近さから12年12月中旬に「テクノパーク土浦北」（土浦市）内に4万8000平方メートルの用地を契約。製造工場の建設を決めた。

また、製造工場の建設だけでなく、倉庫の建設場所として同機構が造成する「ニータウン」は、複合多機能都市が基本コンセプト。足元には良好な住宅地も広がっており、そこで人材を確保できるという意味でもインセンティブがあるだろう」と、今後も県外立地企業の雇用を支えていく。

圏央道 全線開通見据え



圏央道の北海道IC（仮称）付近

沿線地域の利便性向上

明確な開通時期が示されていないものの、全線開通を見据えた企業立地と、それを見込んだ周辺の自治体の工業団地開発なども活発だ。

12年5月に一部稼働した日野自動車の日野工場（古河市）や14年下期の操業開始を予定する雪印メグミルクの乳製品総合工場（阿見町）が呼び水となり、県外のサプライヤーや物流会社なども相次いで県内で圏央道付近での立地を決めている。

三井物産（東京都日野市）は、茨城県開発公社所有の「つくば下妻第二工業団地」内に工場を建設。日野自動車の古河工場への部品供給のほか、他自動車メーカーへの部品製造拠点をすることで、物流コストを削減するとともに、リードタイムを短縮する。前野正広社長は「県側から従業員の住居の確保などで積極的な支援があった」と立地の決め手を話す。

圏央道のつくば中央IC以西では自治体や幹線道路の整備も活発だ。坂東市は12年8月に土地開発公社を設立。土地開発

公社は市に代わって公共用地を先行取得し、日野自動車の関連企業や他産業の企業を猿島岩井インダリーエンジン（IC）に近接する「半谷・富田地区」と「弓田地区」の工業団地の整備を決定。開発中だ。また、常総市でも工業団地の拡張を検討中。

さらに県が06年から整備を進めてきた筑西幹線道路の一部として「市道柳橋恩名線」が今年3月に開通。併せて、09年から整備してきた筑西幹線道路になることから、沿線地域の利便性の向上と、自動車・古河工場へのアクセスが向上するほか、古河市の東西方向の主要道路になることから、沿線地域の利便性の向上と、地域産業の発展も期待されている。



5月、県主催の補助金関連説明会で講演する三五関東の前野正広社長

産業用地を用意

一方、圏央道が横断する形で開通する県南部を中心に造成するUR都市機構の企業向け事業用地にも、幹線道路「インターチェンジ（IC）」に近いことや東京の消費地に近いなどを理由に、県外企業が着々と立地を決めている。

伊藤ハムは、成長する中食・外食市場への販売拡大を視野に調理加工食品の一貫生産体制を構築するために、取手工場（仮）を「取手ゆめみ野（下高井）」（取手市）内の用地に新設することを決定。約20億円を投じて敷地面積約7万平方メートル、延べ床面積約6000平方メートルの工場を今年9月にも稼働させる。生産能力は年2600トンの規模になる見通し。

ユニットハウスやプレハブ製造の三協フロンティアも、ICへの近さから12年12月中旬に「テクノパーク土浦北」（土浦市）内に4万8000平方メートルの用地を契約。製造工場の建設を決めた。

また、製造工場の建設だけでなく、倉庫の建設場所として同機構が造成する「ニータウン」は、複合多機能都市が基本コンセプト。足元には良好な住宅地も広がっており、そこで人材を確保できるという意味でもインセンティブがあるだろう」と、今後も県外立地企業の雇用を支えていく。

茨城県特集



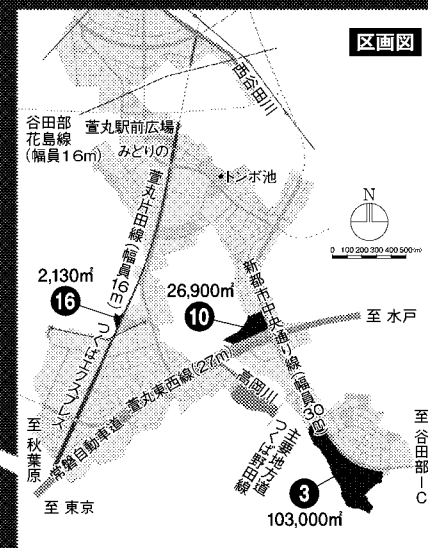
いい話じゃないか、URでいこう。

URビジネス・サポート

事業参加・土地活用 住宅用地 事業用地 店舗・事務所 社宅向けUR賃貸住宅

秋葉原からつくばエクスプレス区間快速利用で約43分の好立地
[つくばエクスプレスタウンつくばみどりの里(萱丸)]

進出条件提案方式による先着順募集受付中



開通区間の整備が着々と進む
圏央道に近接
（常磐自動車道 谷田部ICへ約2km
圏央道つくばJCTに接続）

沿線整備が進む
つくばエクスプレス
地区内の「みどりの駅」から都心へ快適アクセス

圏央道
近接

2000社以上に選ばれてきた信頼と実績。

事業用地はUR。

お問い合わせ先

総合案内
窓口
受付時間

0120-470-463

平日 9:15-17:40 (土・日・祝日除く)

URビジネス・ローション サイト

事業用地はUR

検索

business.ur-net.go.jp